

正確で柔軟に放射性物質の堆積情報を提供する 水底放射能測定装置「みなそこ」

 株式会社 環境総合テクノス
THE GENERAL ENVIRONMENTAL TECHNOS CO.,LTD.

水底放射能測定装置「みなそこ」概要

東日本大震災により発生した原子力発電所の事故により環境に放出された放射性物質が陸上はもとより、ため池、湖沼、河川、海底にも蓄積しました。これらの水底に蓄積している放射性物質の状況を測定後すぐに情報として取得できる装置として開発しました。

今回開発した「みなそこ」*は、水底放射能測定のためのモデルを開発し、標準線源を用いて校正することで、正確な放射性物質堆積情報を提供します。

*「水」「底」を測るところから「みなそこ」と名付けました。



写真1：船を用いた湖での調査風景



写真2：河川での調査風景



写真3：海洋調査船を用いた福島沖での調査風景

生活の水辺から海洋まで多様な水域において調査に活用することができます。

1測定に要する時間は数分～10分程度のため、放射性物質の分布地図を作成するための密度の高い測定を実施することが出来ます。

放射性物質の堆積プロファイルをモデルの条件に付加することで、

より正確かつ多様な堆積情報をご提供することが可能となりました。